

**牟サラ農家(毛利農園)サンチュの出荷開始!**

毛利農園は、愛知県春日井市の北部、高蔵寺ニュータウンの北西部、国道19号線沿い竹藪を借景にした位置にあります。オーナーの毛利重隆さんは、昨年6月長年勤められた機械メーカーを退職され、農業に未来を感じて施設栽培を始められたものです。面積800坪フェンロー温室(ポスインベカ社)を採用してもらい、しき深ベット仕様の湛液方式による水耕栽培でサンチュの葉取り栽培を実施しています。

ハウスは、軒高4.2m、2軸2層カーテン(遮光率50~60%の4Sステンレスネット、保温はビニール)その下に細霧器を導入し、夏場対策、病害虫

対策とされています。栽培ベツは、新開発の上移動方式とし、植付け株数増を図っています。培養液温度管理は、ベツ内にステンレス管埋込させる方式とし、夏場の冷却、冬場の加温が可能のように配慮しています。

栽培パターンは、全パネルを5分割して苗場130枚、1区画(120穴パネル使用、20~30日間育苗)、本圃700枚4区画(14穴パネル使用)を定植日をズラしたローテーション方式を取り入れ、栽培ムラが少なくなるよう工夫されています。

サンチュは、レタス類の仲間ですが、大葉のように葉取りして10枚1

パックにして出荷しています。焼肉に巻いて食べたり、サラダの下敷きなどの用途に使われています。関東圏では、10年前ぐらいから栽培され、かなり使われています。中部圏、関西圏にも普及しつつあることを見込んで作目として選定されました。

本年2月から出荷開始され、1日3万枚目標(現在1.5万~2万枚)に、パートさんの作業効率化などに注力されながら、弊社の流通部と連携しながら日夜頑張っておられます。

(担当 川村庄一)



**今年のM式大会は7月開催ですよ!**

昨年は京都で9月に開催しましたM式大会ですが、今年は例年とおりの7月に、千葉で開催いたします。時期的に9月では出にくいとの意見を多くいただきました。そんなことで、元に戻しましたので奮ってご参加ください。

野菜価格低迷で本当に、日夜ご苦労されていることと思います。生産者としてこれからどう対応していくかが、益々求められてきます。みんなどう考えているのか!、先進地域はどんなシステムでやっているのか!自分の目で確かめる、あるいは仲間と情報交換できるまたとない機会です。ご夫婦揃ってお出かけになってはいかがでしょう。

開催日時 平成12年7月18日(火)~19日(水) 午後1時~

場所 千葉県印旛郡富里日吉台1-1-5  
ホテルセンターザ成田  
(JR成田、京成成田駅前)

講演 昨今の野菜需要動向  
(講師 交法中)

見学会 ・白子グリーンファーム  
(7000坪トマト水耕栽培)  
・完全人工光型植物工場  
(蛍光灯による栽培)

参加費 一人3万円  
主催 全国M式水耕研究会

